

2007年11月22日 マドリッドにて

## UILI 会員の皆様

総会に先立ち、2007年9月6日および7日にベルギー・ブリュッセルにて役員会議が開催されました。

役員会ではいくつかの重要な議案が挙がり、総会で承認されました。UILI 規約の改正に尽力してくださった方々へ心よりお礼申し上げます。役員会で提案された改正内容は総会において承認されました。

総会において、以下の役員が選任されました。

- 会 長                    マニュエル・ドラド・ゴンザレス博士(スペイン)
- 副会長                    スティーブ・ビンセント氏(アメリカ)
- 副会長                    田畑日出男博士(日本)
- 財務担当                ヤン・ソレス氏(ベルギー)
- 事務局長                ルーク・ショルティス博士(オランダ)
- 正会員代表              デビッド・スタンガー氏(ベルギー/イギリス)
- 前会長                    ギブ・マケンティ氏(カナダ)

役員会ではまた、ナショナルメンバー協会や会員の試験所が近い将来直面するであろう課題に触れました。この度、本メッセージの中で、我々がこれまで行ってきた活動や今後展開する可能性のある活動についてまとめました。

ブリュッセル会議で話し合わせ、決議された事柄の報告は次号の UILI ニュースレターに掲載することといたします。

役員会を代表して、

会 長

マニュエル・ドラド

## 今後の活動方針

### はじめに

マーシャル・マクルーハンが定義づけた「Global Village」(1960)という概念があります。この概念では、経済および科学技術の発展には特定の活動に係るグループ内でのコミュニケーションの質を高め共通の認識の下で活動を強化させることが大変重要であるとしています。我々のいる分析の分野においても例外ではありません。

我々が活動するにあたり直面する課題は、各国の会員の間で異なるもので、共通のものとは限りません。にもかかわらず、グローバルな視点をもって、現在および将来のビジネスプランを反映させた解決策を講じなければならない状況です。

### 会員サービス

UILI ビジネスプランを進めていくにあたり、以下の検討事項が特定されました。

- 試験所業務に直接影響をおよぼす、重大かつ国際的関心の高い課題
- 試験所間競争を活発化させる要因となる課題
- 試験所業務に対する、顧客の認識や理解を高めるようなトピックス
- 総会の決議で特定されたプロジェクト

以下に、UILI 役員がこれまでに取り組んでいる、もしくは今後の活動予定を挙げました。

## 今後の活動予定

### 国際機関への代表参加活動

- ISO – ギブ・マケンティ氏は毎年 ISO 本部事務局と連絡をとり、関係を維持している。
- ISO/CASCO – デビッド・スタンガー氏は CASCO の政策委員会に参加し、その活動を監視している。また、松村徹博士は技能試験に係る ISO/CASCO WG28 に UIIL 代表として参加している。
- ILAC – デビッド・スタンガー氏は、この国際的な機関へ UIIL 代表として重要な活動に参加している。
- UNIDO – UIIL は UNIDO のニューヨークおよびウィーンのオフィスとリエゾンの関係である。

### 技術プロジェクト

- 新規事業として、技能試験プログラムを行っている。プログラム第 1 回目は松村徹博士主導、日本協会 JEMCA のサポートにより 2 年間にわたって実施された。プログラム第 2 回目はアメリカ協会 ACIL 主導で行われる。今後、プログラムはより多くの試験所のニーズにあったものにしていきたい。

## 不公正な競争

不公正な競争の起こる環境を評価し、その解決策を講じます。

## UILI 会員の参加

より効果的にサービスを提供するためには UILI 全会員の協会活動への参加が大変重要であると考えます。以下の活動は、ナショナルメンバー協会や正会員、または役員会の協力があって成り立つものです：

- 意見交換
- 何らかの目的のために UILI が会員を支援する
- 他国での法規制や規格の質問する
- その他

## UILI ウェブサイト

UILI のウェブサイトはさらに使いやすくなっています。UILI 会員が互いに直接連絡を取り合う、もしくは役員会と直接連絡をとるのに大変有効な手段です。

(参考) <http://www.uili.org/>

## 役員会

本文書は全ナショナルメンバー協会および全正会員との連絡手段として UILI 役員会の活動報告を行い、また、会員からの要望を聞き、その要望に合った UILI 活動を展開していくための手段として役立っていただければ幸いです。